

一般質問通告表

平成26年第3回始良市議会定例会（9月12日（金）午前9時開会）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 上村 親	1. 将来人口8万人について	<p>(1) 将来の本市を担う子供たちを生み育てる環境づくりは、少子高齢化にある社会状況のなか重要な問題だと思う。始良市は県内で年度ごと人口が微増となっている。人口減少になる前に対策を講じる必要があると思うが、市長が目標としている平成30年度の人口8万人とした根拠と、それに伴う施策について問う。</p> <p>(2) 年齢階層別人口の推移で、平成17年度の人口74,840人のうち、年少人口(0～15歳)が11,052人(14.8%)、生産年齢人口(15～64歳)が、45,903人(61.3%)、老年人口(65歳以上)が、17,878人(23.9%)となっている。平成22年度の人口74,809人のうち、年少人口10,575人(14.2%)、生産年齢人口44,802人(59.9%)、老年人口19,388人(25.9%)であり、5年間で年少人口は、477人の減、生産年齢人口が1,101人の減、老年人口は1,510人の増となり、本市でも少子高齢化が真如となっている。このことについてどのように分析をしているのか。また、この現状に対しどのような政策をとるのか。23年度以降の推移を示せ。</p> <p>(3) 少子化に歯止めをかける目的で、若い夫婦が子を生み育てやすい環境を整えるためにも、出産祝金制度を検討したらどうか。</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 耕作放棄地にオリーブの植栽を推奨できないか	<p>(1) 平成25年5月「6次産業化法」正式名称「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」が国の政策で制定された。この法律は、農林漁業者による加工・販売への進出など6次産業化を図るべく、地産地消を推進し、農林漁業の振興、食糧自給率の向上に寄与することを目的としている。農林漁業者によって、その地域に存在する農林水産資源、農地・山林・水資源を活用した多角化を進められるよう法律で支援するとあるが、本市での取組状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) オリーブは、モクセイ科の常緑樹で他の果樹と比較して、栽培や実の収穫の作業が簡単で、樹木は100年以上にわたり、実の収穫が可能であり孫の代まで残すことができる。苗木は剪定した枝の挿し木で増やすことができ、鳥獣被害の影響が少ない作物である。このオリーブを国・県・企業・市民の協力のもと、始良市の中山間地域を主に植栽（生産）し、高付加価値のオリーブ加工品を製造（加工）し、包括提携企業の協力を最大限生かし、国内産オリーブとして全国に販路拡大（販売）を目指して検討する考えはないか。</p> <p>現在、南九州地域では、えびの市、南さつま市、日置市、天草市、九州オリーブ普及協会（福岡市）が取り組んでいるが、現地視察を含め研究する考えはないか。</p>	市長
	3. 始良駅のバリアフリー化について	<p>(1) 平成23年第1回定例会一般質問で交通バリアフリー化について質問</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>したが、答弁で市民や関係機関で構成されるバリアフリー等連絡協議会等について検討することだったが、その後の取組みはどうなっているか。</p> <p>(2) 始良駅前通り線も今年度完成するが、同時に障がい者が利用できる(車椅子等) 駅舎に整備する考えはないか。</p>	
2. 小山田邦弘	<p>1. 日本創成会議と消滅可能性都市について</p> <p>2. 始良市における将来人口の推計モデルについて</p> <p>3. 人口減少社会に向けた備えについて</p>	<p>急激な人口減少により全国の自治体のほぼ半数は2040年までに消滅するとして「消滅可能性都市」を公表した「日本創成会議」と、彼らによる将来予測をどのように評価するか。</p> <p>また、「日本創成会議」が示している推計モデル自体をどのように評価するか。</p> <p>都市計画マスタープランにおいては、中間目標人口として平成34年が81,000人、平成44年の目標人口が78,000人とされている。これらの推計モデルはどのようなものか。</p> <p>また、この推移予測と実際の人口の動きを比較してどのように評価するか。</p> <p>「日本創成会議」や本市の人口予測ばかりでなく、どの統計予測をみても人口減少社会の到来は遠くないものとして予測されている。</p> <p>これに対して本市は、小学校の新設、相次ぐ企業誘致など一見すると人口増加時代並みの動きが目立っているが、中山間地域などの過疎傾向は間違いなく存在し、これに対する対応や人口減少社会への備えは見えにくい。今後の</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		過疎対策、人口減少社会への具体的な備えを示せ。	
3. 湯元 秀誠	1. 幼児保育の充実について	<p>家庭を持つ働く女性の社会進出に伴い、子育ての環境整備が一昔と大きく違い、行政には幼児保育の充実に、より踏み込んだ取組みが求められている。</p> <p>(1) 公立の幼稚園、保育園に子どもを預けて働きたいが、預かってもらえないと相談を受ける。現在0歳児を含め、市内には何人の待機児童がいるか。その解消策は。</p> <p>(2) 産前の仕事への復帰ができる育児休業制度を利用される方々は安心して子育て計画を立てられる。入所には子どもを預けて働きたい希望があるが就労証明書の提出が求められる。子どもを預けることの確約がなければ雇ってくれる職場は探せないのも現実であるが入所要件に求職活動に求職登録を行うことが条件となっている。保育所は4月以外の入所は難しく制度化されていても要件と保護者の条件がかみ合わないのが現状である。保護者の育児休業の取得後に円滑に職場復帰できるなどを含めた入所予約制度は設けられないか。</p> <p>(3) 始良市の蒲生に住み子育てをしたいと、市外から転入して来られた方が「大楠ちびっこ園は県内で一番早く幼保一元化の保育園に取り組んだ先進地と聞いたが」と途中入所も容易でない現状に失望感を抱いておられる。市外からの転入者の保護者に始良市に住みたいと魅力ある取組みとして、一定の転入の確約の条件を設けるなどして入所予約制度はできないか。</p> <p>(4) 蒲生で育児をしている保護者の</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 交通システムについて</p>	<p>方が、蒲生には1か所しかない大楠ちびっこ園に子どもを預けられないのに加治木など遠方からの入所があるがなぜかと問われる。学校には校区制が設けてあるが、地域優先の制度もしくは園区の制度化はできないか。</p> <p>(5) 始良市では私立の保育園等において入所定員を増やすため基準面積の改善の取組みをしているが、待機児童の解消の改善につながるか。</p> <p>(6) 保育ママ等を活用した小規模保育園の推進は図れないか。</p> <p>合併前から旧町ごとに取り組んでいる循環バス、巡回バス、乗合バス運行については高齢者の方々を含め市民の福祉の向上に大きく貢献して市民にはなくてはならない存在である。</p> <p>(1) 合併後、このバス運行の時刻やルートの見直しは何回行ったか。その見直しでは何を重要項目として改善がされたか。また利用者の聞き取りなどはしたか。</p> <p>(2) 財政面からの効率性も重要視すべきであるが交通弱者への配慮は大切である。しかし運行区域は合併前から基本的には変わっていない。場所によっては相互の乗り入れの運行もしてはと考えるがどうか。</p> <p>(3) 市町村の運行している乗り合いバスなどには停留所は設けてあるが、利用者の利便性を高めるためにフリー乗降バスとして運行している自治体もある。検討してはどうか。</p> <p>(4) 運行システムの見直しで利用度の低い地域や、運行時間帯の不都合などで利用者の条件に合致しない地域の高齢者の方々にはタクシーの乗合券の</p>	<p>市長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		助成制度はできないか。	
4. 堀 広子	<p>1. 介護保険制度改正について</p> <p>2. 国保問題について</p> <p>3. 住宅リフォーム支援制度について</p>	<p>(1) 2015年度から介護保険は、要支援者の通所介護、訪問介護を保険給付から外し、市町村の地域支援事業に新たに介護予防・生活支援事業として代替サービスを実施することになるが従来のサービスを継続することができるか。</p> <p>(2) 特別養護老人ホームの入所を原則要介護3以上とすることで、低所得の高齢者が行き場を失うことにならないか。</p> <p>(3) 利用者の2割負担化は、年間所得160万以上の者とされている。1割負担でさえ利用の差し控えがある現状で2割負担は必要なサービスの利用抑制を引き起こし、高齢者の要介護度の重度化につながるのではないか。</p> <p>(4) 補足給付の見直しは支給要件に配偶者の所得、資産も勘案される。収入が少なく住民税非課税世帯であっても資産があるため補足給付を受けられない人が出てくるのではないか。</p> <p>(1) 2015年3月を期限とする国保税軽減（一般会計繰入）を再度導入し、市民負担の軽減を図れないか。</p> <p>(2) 国保の広域化にあたり、都道府県単位の運営主体が「一般会計からの繰入れを行う必要は生じない仕組みとする。」としている。繰入れがなくなることによる市民負担と軽減策をどのように考えるか。</p> <p>業者も住民も地域も元気にする住宅リフォーム支援制度を実施した霧島市</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>の事業実績は25年度252名が制度を活用した。289件の工事、受注業者74社であり、26年度は工事期間中だが、266名が活用し受注業者70社である。</p> <p>総事業費3億1千600万円、補助額が4千950万8千円となり、経済波及効果も高い。</p> <p>2013年度実施自治体は全国で620自治体であり、県内では17自治体を実施している。始良市においての実施の方向性はどのようになるか。</p>	
5. 峯下 洋	<p>1. プロジェクター活用について</p> <p>2. 帖佐駅の乗降について</p> <p>3. 空き家対策について</p>	<p>加音ホールの大ホールにプロジェクターを設置し出演者のアップを放映する考えはないか。</p> <p>(1) 松原地区からの改札口を作って欲しいとの意見があるが何か方策はあるか。</p> <p>(2) 鹿児島方面に行く場合、陸橋を渡っていかなくてはならない。車椅子利用者・足の不自由な方々にとってとても大変である。</p> <p>エレベーター等の設置を要請することはできないか。</p> <p>(1) 崩れかけた家をそのままにしている。</p> <p>更地にするには家の解体費もかかりその上、固定資産税が上がると聞く。</p> <p>現在の始良市の住宅の平均固定資産税はいくらか。</p> <p>更地と比較した場合、どれだけ固定資産税があがるのか。</p> <p>(2) 住むことのできない空き家は何軒あるか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. 住宅取得について	<p>また、今後どのようにして対処していくのか考えを聞きたい。</p> <p>新築住居より中古住居を取得する人に有利な施策は考えられないか。</p>	市長